## 題材系統表

題材は，五つの分野で構成され，活動のねらい，発想のきっかけ，使用する材料や用具などを考慮し，発達の段階とともに学びを深めることができるよう，系統的に配列されています。

| | | | | 1・2上 | 1・2下 | 3・4上 | 3・4下 | 5・6上 | 5・6下 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A表現 | 造形遊びをする | 材料や場所を基にして活動する | 材料を基にして | ・カラフル いろみず（p.28-29）<br>・いっぱい つかって なに しよう（p.38-39） | ・ひかりの プレゼント（p.10-11）<br>・しんぶんしと なかよし（p.18-19）<br>・だんボールに 入って みると！？（p.44-45） | ・ぬのをつないで（p.12-13）<br>・ひもひもワールド（p.52-53） | ・光とかげから生まれる形（p.38-39） | | |
| | | | 場所・環境を生かして | | | ・「小さな自分」のお気に入り（p.30-31） | ・ここにいたい（p.10-11）<br>・まどをのぞいて（p.46-47） | ・あんなところがこんなところに見えてきた（p.10-11）<br>・光と場所のハーモニー（p.44-45） | ・ここから見ると（p.12-13）<br>・自然を感じるすてきな場所で（p.22-23）<br>・思い出のあの場所に（p.44-45） |
| | | 体全体を働かせながら活動する | | ・すなや つちと なかよし（p.14-15）<br>・べったん コロコロ（p.24-25）<br>・ならべて ならべて（p.48-49） | ・つないで つるして（p.32-33） | ・クミクミックス（p.40-41） | ・ここをつつんだら（p.20-21）<br>・つなぐんぐん（p.24-25） | | |
| | 絵に表す | 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す | | ・かきたい もの なあに（p.10-11）<br>・やぶいた かたちから うまれたよ（p.16-17）<br>・いろいろな かたちの かみから（p.30-31） | ・とろとろえのぐで かく（p.22-23）<br>・はさみの あーと（p.36-37）<br>・ざいりょうから ひらめき（p.46-47） | ・絵のぐ＋水＋ふで＝いいかんじ！（p.8-9）<br>・ペタパタひらくと（p.28-29）<br>・土でかく（p.48-49） | ・絵の具でゆめもよう（p.8-9）<br>・光のさしこむ絵（p.32-33）<br>・これでえがくと（p.40-41） | ・でこぼこの絵（p.32-33）<br>・消してかく（p.40-41） | ・墨と水から広がる世界（p.10-11）<br>・感じて 考えて（p.30-31） |
| | | 感じたこと，想像したこと，見たことから表す | 日常生活でかきためたことから表す | | ・おはなみ スケッチ（p.8-9） | ・わたしの６月の絵（p.18-19） | | ・絵の具スケッチ（p.8-9） | |
| | | | 生活経験から表す | ・みて みて あのね（p.20-21） | ・たのしかったよ ドキドキしたよ（p.26-27） | ・あの日あの時の気もち（p.24-25） | ・わすれられない気持ち（p.26-27） | ・心に残ったあの時 あの場所（p.22-23） | ・わたしの大切な風景（p.24-25） |
| | | | 想像したことから表す | ・のって みたいな いきたいな（p.46-47） | ・ふしぎな たまご（p.16-17） | ・ひらいて広がるふしぎなせかい（p.36-37） | ・まぼろしの花（p.16-17） | ・心のもよう（p.14-15）<br>・まだ見ぬ世界（p.26-27） | ・音のする絵（p.20-21） |
| | | | 物語などから感じたこと，想像したことから表す | ・おはなしから うまれたよ（p.34-35） | ・ことばの かたち（p.40-41） | ・ことばから形・色（p.42-43） | ・言葉から形・色（p.44-45） | ・言葉から思いを広げて（p.46-47） | ・言葉から想像を広げて（p.42-43） |
| | | 版に表す | | ・うつした かたちから（p.58-59） | ・たのしく うつして（p.52-53） | ・いろいろうつして（p.54-55） | ・ほってすって見つけて（p.54-55） | ・ほり進めて刷り重ねて（p.50-51） | ・版で広がるわたしの思い（p.50-51） |
| | 立体に表す | 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す | 粘土で | ・ひもひも ねんど（p.18-19） | ・にぎにぎ ねん土（p.12-13） | ・切ってかき出しくっつけて（p.16-17） | ・立ち上がれ！ ねん土（p.14-15） | ・わたしのいい形（p.48-49） | ・固まった形から（p.28-29） |
| | | | 様々な材料で | ・はこで つくったよ（p.44-45） | ・くしゃくしゃ ぎゅっ（p.20-21） | ・カラフルフレンド（p.10-11）<br>・くぎうちトントン（p.32-33） | ・ひみつのすみか（p.36-37） | ・糸のこスイスイ（p.20-21）<br>・立ち上がれ！ ワイヤーアート（p.30-31） | ・光の形（p.14-15） |
| | | 感じたこと，想像したこと，見たことから表す | 粘土で | ・ごちそう パーティー はじめよう！（p.26-27）<br>・いっしょに おさんぽ（p.54-55） | ・おもいでを かたちに（p.38-39） | ・ねん土マイタウン（p.46-47） | ・元気のおまもり（p.30-31） | ・のぞいてみると（p.12-13） | ・水の流れのように（p.40-41） |
| | | | 様々な材料で | | ・ともだち ハウス（p.50-51） | ・クリスタルアニマル（p.26-27） | ・ようこそ！ ゆめのまちへ（p.48-49） | ・ミラクル！ ミラーステージ（p.38-39） | ・未来のわたし（p.48-49） |
| | 工作に表す | 飾るもの・使えるものをつくる | | ・ちょきちょき かざり（p.12-13）<br>・ひらひら ゆれて（p.32-33）<br>・かざって なに いれよう（p.40-41） | ・わっかで へんしん（p.14-15） | ・空きようきのへんしん（p.38-39） | ・ギコギコ トントン クリエイター（p.18-19）<br>・おもしろだんボールボックス（p.28-29） | ・使って楽しい焼き物（p.24-25） | ・おもしろ筆（p.8-9）<br>・すてきな明かり（p.26-27）<br>・１まいの板から（p.32-33） |
| | | 遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる | | ・おって たてたら（p.22-23）<br>・かみざら コロコロ（p.50-51）<br>・にょきにょき とびだせ（p.56-57） | ・まどから こんにちは（p.24-25）<br>・音づくり フレンズ（p.30-31）<br>・わくわく おはなしゲーム（p.42-43）<br>・パタパタ ストロー（p.48-49） | ・くるくるランド（p.14-15）<br>・ふき上がる風にのせて（p.20-21）<br>・ゴムゴムパワー（p.44-45）<br>・マグネットマジック（p.50-51） | ・コロコロガーレ（p.12-13）<br>・ゴー！ ゴー！ ドリームカー（p.50-51） | ・形が動く 絵が動く（p.18-19）<br>・わくわくプレイランド（p.42-43） | ・くるくるクランク（p.16-17） |
| | | 伝え合うものをつくる | | | | | ・カードでつたえる気持ち（p.42-43） | ・伝え合いたい思い（p.52-53） | ・ドリーム・プロジェクト（p.46-47） |
| B鑑賞 | 鑑賞する | 身の回りのものの楽しさや面白さ・よさを感じ取る | | ・でこぼこ はっけん！（p.42-43）<br>・すきまちゃんの すきな すきま（p.52-53） | ・いろの 見えかた むげん大（p.28-29）<br>・ともだち 見つけた！（p.54-55） | ・み近なしぜんの形・色（p.22-23） | ・色合いひびき合い（p.22-23） | ・水から発見 ここきれい！（p.28-29） | |
| | | 自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る | | | | | ・ポーズのひみつ（p.52-53） | ・カードを使って（p.16-17） | ・この筆あと，どんな空？（p.18-19）<br>・わたしの感じる和（p.38-39） |

**題材別カリキュラム表は以下の内容で構成されています。**

| | |
|---|---|
| **分野** | 造形遊びをする，絵に表す，立体に表す，工作に表す，鑑賞する，のいずれかで示しています。 |
| **系統** | 分野の中で，さらに細かく系統を示しています。系統に関しては本書p.２-３をご参照いただき，６年間の学びを見通す際などにご参考ください。 |
| **ページ** | 教科書の掲載ページを示しています。 |
| **配当時間** | 題材を実施するにあたっての参考時数を示しています（１時間＝45分）。この枠に収めなければいけないということではありません。各学校や児童の実態に合わせてご検討ください。 |
| **題材名** | 教科書の題材名を示しています。教科書紙面において複数の展開例を示しているものは，展開例ごとに示しています。<br>例）１・２上　かきたい もの なあに<br>　　～すきな もの いっぱい～　～おひさま にこにこ～ |
| **題材の目標** | 各題材の目標を，学習指導要領で示されている各学年の目標を踏まえた一文で示しています。<br>※各題材での目標を，各学年の目標（１）（２）（３）それぞれに対応する三文で設定することも考えられます。 |
| **育てたい子どもの姿** | 「学びに向かう力，人間性等」の個人内評価とする部分や，日本文教出版株式会社が図画工作の学習で大切にしたいこと（「感じる・ためす・つくりだす」）などを踏まえ，題材を通して育てたい子どもの姿を示しています。<br>※「感じる・ためす・つくりだす」については，教師用指導書「指導解説編」もあわせてご参考ください。 |
| **主な学習内容** | 児童の活動を中心として，授業の流れを示しています。 |
| **評価規準の例** | 各観点ごとに「おおむね満足できる」状況（Ｂ）について記載しています。<br>・表現の題材においては，鑑賞する学習活動との関連を示すために「思考・判断・表現」のＢ鑑賞に関する評価規準も設定しています。関連して指導する場合にご参考ください。<br>・鑑賞する題材では，独立して行うことを前提としているため「知識・技能」における「技能」に関する評価規準，「思考・判断・表現」におけるＡ表現に関する評価規準は設定していません。ただし一部の題材については上記の観点についても示しています。<br>・「技能」において示している材料・用具は教科書紙面に基づくものです。実際に使用する材料や用具，中学年以降においては児童の経験を踏まえて，設定してください。<br>例）５・６上「糸のこスイスイ」<br>　　表現方法に応じて電動糸のこぎりや紙やすりを活用するとともに，板材や水彩絵の具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。<br>※評価の考え方については，教師用指導書「指導解説編」もあわせてご参考ください。 |
| **主な材料・用具** | 授業で必要な材料や用具を，教師，児童それぞれが準備するものとして示しています。学校や学級の実態に応じて，教師，児童いずれが準備するのかご検討ください。<br>ここで示していないものであっても，活動をより広げるために用意しておくとよい材料や用具に関しては，教師用指導書「朱書編」でご確認ください。<br>※材料・用具の取扱いについては，教師用指導書「材料・用具編」もあわせてご参考ください。 |
| **関連** | 幼児期／中学校といった校種間の関連，他教科等との関連，他の題材との関連などを示しています。<br>関連は一例であり，他にも多様な関連が考えられますが，校種間接続や，カリキュラムマネジメントの視点からご参考ください。 |



# 題材別カリキュラム

## p.8-9　絵の具スケッチ
感じたこと，想像したこと，見たことから表す／日常生活でかきためたことから表す　　2～4

**目標**　身近な場所やものを見て，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，よいと感じた印象や思いを絵に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 積極的に日々のできごとに関わり，身近な場所やもののよさや美しさを自分なりの見え方で捉え，生活を豊かにしようとする子ども。 | ○黄ボール紙に液体粘土を塗ったり，破いたりして，スケッチの紙をつくる。<br>○つくった紙と水彩用具をもって，表したい場所を探す。<br>○表したい場所やものを思いのままにかく。<br>○かいたものを組み合わせたり，友人とお互いの作品を紹介し合ったりする。 | 教師：基底材（黄ボール紙・ボール紙・段ボール，画用紙など），液体粘土 など<br>児童：水彩用具一式，雑巾 など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 身近にある，よいと感じた場所やものを表すときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，身近にある場所から感じたこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に身近にある，よいと感じた場所やものを小さな紙に表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　他の題材：p.22-23「心に残ったあの時 あの場所」との関連が深い。かきためたものを組み合わせて表すこともできる。

## p.10-11　あんなところがこんなところに見えてきた
材料や場所を基にして活動する／場所・環境を生かして　　2～6

**目標**　身近な場所の特徴から発想を広げて，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，いろいろな材料を活用し，工夫して楽しい空間につくりかえる。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 見方を変えることで，見慣れた場所やもののよさを見付け，よさを生かしながらつくりかえることに意欲をもち楽しむ子ども。 | ○形や色，あるものなどを確かめながら，いろいろな場所を見て回る。<br>○気に入った場所を，場所の形や色などの特徴，あるものなどを生かしながら，材料や用具を工夫して使い，つくりかえる。<br>○友人とお互いがつくりかえた場所を見て回り，よさを伝え合う。 | 教師・児童：段ボール，セロハンテープ，身辺材 など<br>教師：画用紙，色画用紙，色セロハン，カッターナイフ，カッターマット，木工用接着剤，デジタルカメラ など<br>児童：水彩用具一式，ペン，はさみ など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 場所にあるものの形や色などを生かして，楽しく見えるものをつくるときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランスなどを理解している。 | 活動に応じて身辺材などを活用するとともに，紙粘土や画用紙，はさみ，カッターナイフなどについての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくっている。 | 動き，奥行き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，場所にあるものや空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付き，構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら，どのように活動するかについて考えている。 | 動き，奥行き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，身近な場所にあるものや自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，つくり方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に場所にあるものの形や色などを生かして，楽しく見えるものをつくる学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　中学校美術：周囲の様子を考え表しながら空間を変えることを構想する活動は，中学校美術第１学年Ａ表現（１）ア（ア）やイ（ア）などにもつながる。





## p.12-13　のぞいてみると
感じたこと，想像したこと，見たことから表す／様々な材料で　　4～6

**目標**　穴を開けた段ボールに差し込む光の様子から表したいことを見付け，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 少しのきっかけを基にしながら想像を広げていき，学んだことを生かしながら思いを形にすることに喜びを感じる子ども。 | ○段ボール箱に穴を開けて，光の差し込む様子を味わう。<br>○光の差し込む様子を基に表したいことを考える。<br>○材料を活用しながらつくる。<br>○友人とお互いの作品を覗いてみながら，表現の違いや工夫を味わう。 | 教師・児童：段ボール，身辺材 など<br>教師：紙粘土，色セロハン，段ボールカッター，カッターナイフ，カッターマット，きり，木工用接着剤，化学接着剤，クラフトテープ，懐中電灯 など<br>児童：水彩用具一式，はさみ など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 段ボール箱に穴を開けて，差し込む光を見ながら思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して，奥行き，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて身近な材料や用具などを活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 奥行き，動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，光の差し込む箱の中を覗いて感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 奥行き，動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に段ボール箱に穴を開けて，差し込む光を見ながら思い付いたことを立体に表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　他の題材：ある視点からの見え方を大切にするという点で，５・６下p.12-13「ここから見ると」との関連が深い。

## p.14-15　心のもよう
感じたこと，想像したこと，見たことから表す／想像したことから表す　　2～4

**目標**　思いのままにかいた形や色を見ながら，自分の気持ちを見つめ表したいことを見付け，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，工夫して表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 材料や用具に触れながら自分の気持ちを考えたり，表れた形や色の中から自分の気持ちを見付けたりしながら，今の自分を見つめる子ども。 | ○いろいろな描画材を使いながら，思いのままにかく。<br>○かいた紙を見たり並べたりしながら自分の気持ちを考える。<br>○自分の気持ちに合うように構成したりかき足したりする。<br>○友人とお互いが表現したものを見せ合い，気持ちを伝え合う。 | 教師：コンテ・パステル など<br>児童：水彩用具一式，クレヨン・パス，はさみ，のり など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 思いのままにかいた形や色からいろいろな気持ちを見付けて表すときの感覚や行為を通して，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて水彩絵の具などを活用するとともに，クレヨン・パス，コンテ・パステルなどの経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，思いのままにかきながら感じたことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に思いのままにかいた形や色から，いろいろな気持ちを見付け，表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　道徳：Ａ「個性の伸長」との関連が深い。形や色などの造形的な特徴から自分の今の気持ちを考えていくことを通して，道徳の学習につなげたい。

## p.16-17　カードを使って　自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る

### ～カードをつくって～　2～4

**目標**　自分たちでつくったカードを使って，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，感じたことや思ったことを伝え合い，よさや美しさを感じ取り，見方や感じ方を深める。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 自分の感覚や情報を手がかりにして感じたことを話し合ったり伝えたりしながら，多様な見方や感じ方を認め合う子ども。 | ○「心のもよう」などでつくった紙や，大きな紙にかいた模様からよいと思ったところを切り取ってつくったカードをグループで見合う。<br>○形や色などを基に，よいと思ったところや，感じたことなどを話し合う。<br>○アート・ゲームをするなどして，見方や感じ方の違いを知り，深める。 | 教師：画用紙，クレヨン・パス，コンテ・パステル，ローラー，金網，歯ブラシ，カッターナイフ，カッターマット，切り抜き用の枠，ワークシート など<br>児童：水彩用具一式，筆記用具 など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 自分たちでつくったカードでゲームをしているときの感覚や行為を通して，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | | | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちのつくったカードの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に自分たちでつくったカードにかかれた形や色を見て，感じたことや思ったことを伝え合い，見方や感じ方を深める学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　道徳：B「相互理解，寛容」との関連が深い。友人との見方や感じ方，考え方の違いを知り，そのことを受け止め合うことを通して，道徳の学習につなげたい。

### ～アート・カードで～　1～2

**目標**　アート・カードを使って，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，感じたことや思ったことを伝え合い，よさや美しさを感じ取り見方や感じ方を深める。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 自分の感覚や情報を手がかりにして感じたことを話し合ったり伝えたりしながら，多様な見方や感じ方を認め合う子ども。 | ○アート・カードを並べて，好きな作品や気になったカードなどについて話し合う。<br>○アート・ゲームをしながら，いろいろな美術作品のよさや美しさを感じ取り，友人の見方や感じ方を知り，深める。 | 教師：アート・カード，ワークシート<br>児童：筆記用具 |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| アート・カードでゲームをしているときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | | | 動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，我が国や諸外国の親しみのある美術作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的にアート・カードに描かれた形や色を見て，感じたことや思ったことを伝え合い，見方や感じ方を深める学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　道徳：B「相互理解，寛容」との関連が深い。友人との見方や感じ方，考え方の違いを知り，そのことを受け止め合うことを通して，道徳の学習につなげたい。





## p.18-19　形が動く 絵が動く　遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる　4～6

**目標**　動きが連続して見えるアニメーションの仕組みを生かして，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，表現を工夫して楽しい作品をつくる。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| お互いの意見を取り入れながら協力して，見る人にとっても面白いと思えるものをつくりだそうとする子ども。 | ○アニメーションの仕組みを知る。<br>○動くと楽しいものやお話を考える。<br>○動きを確かめながら協力してつくる。<br>○つくった作品を上映し，お互いの作品のよさや楽しさを味わう。 | 教師・児童：身辺材 など<br>教師：紙粘土，黒板，チョーク，（ホワイトボード，ホワイトボード用マーカー），デジタルカメラ・タブレットPC，三脚，大型テレビ・プロジェクター など<br>児童：水彩用具一式 など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| コマどりアニメーションの仕組みを使って，楽しい動きや変化をつくるときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランスなどを理解している。 | 表現方法に応じてデジタルカメラやタブレットPCを活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，奥行き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，材料などを動かして感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，奥行き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的にコマどりアニメーションの仕組みを使って，楽しい動きや変化をつくる学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　国語：「文章全体の構成や展開を考える」活動と関連させ，アニメーションの物語を考えることもできる。

## p.20-21　糸のこスイスイ　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／様々な材料で　4～6

**目標**　電動糸のこぎりの使い方を工夫して自由に切り分けたいろいろな形の板に切込みを入れ，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，組み合わせて立体に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 用具を使い，自らつくりだした材料を使って，自分なりの思いをもって考え，組み合わせながら表そうとする子ども。 | ○電動糸のこぎりの安全な使い方を知る。<br>○切り分けた板に切込みを入れてつなげる方法を知り，組合せを工夫しながら面白い形を考える。<br>○板に着色したり，さらに切り分けたり，切込みを入れたりしてつくる。<br>○表したものを見て題名を考える。<br>○作品を友人と一緒に見合い，切り分けた形や組み合わせた面白さについて話し合う。 | 教師：電動糸のこぎり（２～３人で１台），糸のこぎり刃，ベニヤ板（厚さ５～７mm，30×45cm程度），紙やすり，ニス，刷毛 など<br>児童：水彩用具一式，鉛筆 など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 電動糸のこぎりを使って板をいろいろな形に切り，組み合わせて表すときの感覚や行為を通して，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて電動糸のこぎりや紙やすりを活用するとともに，板材や水彩絵の具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，板を切り分けたり，組み合わせたりしながら感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に電動糸のこぎりを使って板をいろいろな形に切り，組み合わせて表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　中学校技術：A「材料と加工の技術」につながる題材である。本題材で電動糸のこぎりを自由に扱うなかで，慣れていけるようにしたい。

## p.22-23　心に残ったあの時 あの場所　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／生活経験から表す　2～8

**目標**　生活の中で心に残ったことや様子を思い浮かべ，そのとき感じた気持ちや思いに合う形や色などの造形的な特徴を捉えながら，工夫して絵に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 生活の中で心に残ったことを，そのときに感じた印象や思いを表したり伝えたりしながら大切にする子ども。 | ○生活の中で心に残ったことを思い浮かべる。<br>○思い浮かべた様子から，感じたことや思ったこと，気持ちに合う表し方を考え，工夫しながら絵に表す。<br>○友人とお互いに作品を見合い，表した様子や表し方の工夫を味わう。 | 教師：画用紙，コンテ・パステル など<br>児童：水彩用具一式，クレヨン・パス，ペン など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 普段の生活や身の回りを見つめ，そのときに感じたことを表すときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに，水彩絵の具などの描画材についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，普段の生活で感じたこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に普段の生活や身の回りを見つめ，そのときに感じたことを表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　国語・外国語：国語や外国語における作文やコミュニケーションの学びと繋げることが考えられる。

## p.24-25　使って楽しい焼き物　飾るもの・使えるものをつくる　4～6

**目標**　目的や用途に合わせて発想し，焼成に適した粘土や釉薬などを用いて，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，つくり方を工夫して楽しく使える焼き物をつくる。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 自分がつくったものに愛着を感じ，使うことを楽しみ，よりよい生活をつくりだそうとする子ども。 | ○粘土の成形の方法について知る。<br>○生活のどの場面で使うのか考え，つくりたいものやつくり方を考える。<br>○つくりたいものに合うように手や用具を活用しながらつくる。<br>○実際に使うなどして，作品のよさを味わい，友人と伝え合う。 | 教師・児童：粘土板，新聞紙 など<br>教師：焼成用の粘土，釉薬，かきべら，切り糸，たたら板，のし棒 など<br>児童：粘土べら，雑巾 など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 用途を考えて，楽しく使える焼き物をつくるときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。 | 表現方法に応じて釉薬などを活用するとともに，粘土や切り糸やかきべら，のし棒などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，粘土に触れて感じたこと，使う様子を想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じ，用途などを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，実際に使うなどして自分たちの作品や生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に用途を考えて，楽しく使える焼き物をつくる学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　社会：地域の伝統文化を知ることや，日本の文化財などについて知ることは，社会科とのつながりの中で捉えることができる。
道徳：C「伝統や文化の尊重，国や郷土を愛する態度」との関連が深い。焼き物をつくることを通して，日本の伝統文化に触れたことから道徳の学習につなげたい。





## p.26-27　まだ見ぬ世界　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／想像したことから表す　2～6

**目標**　心に留まる写真から，まだ見たこともない世界の様子を想像し，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，表し方を工夫して絵に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 自分の想像で対象を様々に発展させたり，変えたりできることを楽しみ，形や色で表しながら自分のイメージを心に広げ，「まだ見ぬ世界」や未来に思いを巡らせる子ども。 | ○心に留まる写真を選ぶ。<br>○写真から，「まだ見ぬ世界」の色や形や様子を想像してかく。<br>○自分の表したいことが伝わる表し方を工夫してかく。<br>○自分たちの作品を鑑賞して，お互いのよさや表し方の違いを感じ取る。 | 教師・児童：写真 など<br>教師：基底材（画用紙・色画用紙・黄ボール紙・白ボール紙など），コンテ・パステル，ローラー など<br>児童：水彩用具一式，はさみ，のり など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 写真から想像を広げて，絵に表すときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに，水彩絵の具などの描画材についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，写真から感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に写真から想像を広げて，絵に表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　中学校美術：第１学年A表現（１）の（ア）「対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ，想像したことなどを基に主題を生み出し，全体と部分の関係などを考え，創造的な構成をし，心豊かに表現する構想を練ること」は，小学校における表現活動の積み重ねから生まれるものである。

## p.28-29　水から発見 ここきれい！　身の回りのものの楽しさや面白さ・よさを感じ取る　3～4

**目標**　透明容器に入れた色水を組み合わせ，みんなで見たりデジタルカメラなどで撮影したりして，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，見付けたよさや美しさを味わい，感じたことを伝え合う。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| いつも見ているものをじっくり見たり，手を加えたりすることでいろいろなよさを捉え，身の回りのものを新たな視点で見つめようとする子ども。 | ○透明な容器に水を入れるなどしながら，変化する形や見え方の違いを見付ける。<br>○水に色を付けたり，いろいろな用具を使ったりしながら，より美しく見えるように工夫する。<br>○よさや美しさを感じたところを撮影する。<br>○写真などを見せながら，美しさを感じたところなどを友人と紹介し合う。 | 教師・児童：ペットボトル，透明容器，雑巾 など<br>教師：アルコールランプ用三脚，ガスバーナー用三脚，スポイト，カラーインク・たこ染料，ミラーシート，ＬＥＤライト，ワークシート，デジタルカメラ，モニター，ビニルシート，白模造紙 など<br>児童：水彩用具一式，筆記用具 など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 水と容器を使って，きれいと感じる様子を見付けるときの感覚や行為を通して，色の鮮やかさ，動き，奥行き，バランスなどを理解している。 | | | 色の鮮やかさ，動き，奥行き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，水や色水と容器でつくったものや写真で写した様子などの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に水と容器を使って，きれいと感じる様子を見付け，よさや美しさを味わう学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　道徳：B「相互理解，寛容」D「感動，畏敬の念」との関連が深い。協力してより美しいと感じる見え方を探すこと，見え方の違いを感じること，つくりだしたものの美しさを感じることなどを通して道徳の学習とつなげたい。

## p.30-31　立ち上がれ！ ワイヤーアート　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／様々な材料で　4～6

**目標**　針金を曲げたり立たせ方を工夫したりして形を変えながら，形などの造形的な特徴を捉えて立体に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 単一の材料のみでも，表し方を工夫することで様々な形を表すことができることに興味をもち，試しながら思いを実現しようとする子ども。 | ○針金に触れて，いろいろな立たせ方を試す。<br>○いろいろな表現を楽しみながら立ち上がる形を工夫してつくる。<br>○表したものを見て題名を考える。<br>○お互いの作品を紹介し合い，自分や友人の作品のよさや美しさを感じ取る。 | 教師：アルミ針金，ペンチ，ラジオペンチ など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 針金に触れて形を変えながら，立ち上がる面白い形を見付けて立体に表すときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。 | 表現方法に応じてペンチ，針金を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，針金の形を変えながら感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に針金に触れて形を変えながら，立ち上がる面白い形を見付けて立体に表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　外国語：外国語活動と同じく，ショー・アンド・テルの中で作品について伝えることが考えられる。単一の材料を使いながら多様な表現が生まれるので，こうした活動に向いていると考えられる。

## p.32-33　でこぼこの絵　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す　3～8

**目標**　薄い板材を重ねてできる，でこぼこの面白さから表したいことを見付け，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，構成の美しさなどの感じを考え，自分の思いに合わせて工夫して絵に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| これまでの造形活動を通して培ってきた自分のよさを生かし，試しながら思いを広げていく楽しさや，納得のいくまでつくりかえることでつくりだす喜びを味わえる子ども。 | ○板切れを置いたり重ねたりして，でこぼこの画面を考える。<br>○板の形や色などを変えて表し方を工夫する。<br>○作品の題名を考える。<br>○友人とお互いの作品を見合い，よさや美しさを感じ取る。 | 教師：板切れ，板材，木工塗料，紙やすり，皿，電動糸のこぎり，刷毛，木工用接着剤 など<br>児童：彫刻刀，水彩用具一式，汚れてもよい服装　など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 薄い板材を切ったり重ねたりしながら表すときの感覚や行為を通して，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて電動糸のこぎりなどを活用するとともに，板材，木工用接着剤，彫刻刀，水彩絵の具などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，板を切ったり重ねたりして感じたことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に薄い板材を，切ったり重ねたりしながら思い付いたことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　他の題材：p.20-21「糸のこスイスイ」やp.42-43「わくわくプレイランド」などでの木切れを活用することが考えられる。また版に表す活動で使用した版木などを活用することも考えられる。





## p.38-39　ミラクル！ ミラーステージ　感じたこと，想像したこと，見たことから表す／様々な材料で　5～8

**目標**　鏡のもつ面白さや不思議さを生かして，映り方や見え方を試しながら，形や色などの造形的な特徴を捉え，材料の組合せ方を工夫して立体に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 材料の意外性に興味をもち，試しながら発想を広げ，工夫して意欲的につくり続けていく子ども。 | ○鏡やミラーシートを使って映り方を試し，映る仕組みや楽しさを感じ取る。<br>○ステージをつくり，試しながら表したいものを考える。<br>○材料や用具を活用しながらつくる，<br>○鏡に映る世界の楽しさや工夫したところなどを伝え合う。 | 教師・児童：段ボール，セロハンテープ，身辺材 など<br>教師：ミラーシート，紙粘土，画用紙，色画用紙，カッターナイフ，カッターマット，両面テープ，木工用接着剤，化学接着剤 など<br>児童：水彩用具一式，はさみ，のり など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 鏡の面白さ，不思議さを生かし，材料を組み合わせてつくるときの感覚や行為を通して，奥行き，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じてミラーシートなどを活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 奥行き，動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，ミラーシートに形を映して感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 奥行き，動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に鏡の面白さ，不思議さを生かし，材料を組み合わせてつくる学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　中学校美術：第１学年Ａ表現（１）ア（ア）での全体と部分との関係を考えることや，創造的な構成を工夫することなどとの関連が深い。

## p.40-41　消してかく　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す　2～6

**目標**　コンテで塗り込んだ画面を消しゴムで消しながら現れる形から表したいことを見付け，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，自分の思いに合う表し方を工夫して絵に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 画面の中に現れる自分にとってのよい形を探しながら，納得のいくまで試し，イメージを立ち上げる感覚を味わえる子ども。 | ○体全体でコンテで画用紙を塗り込めて，何もない画面をつくる。<br>○消しゴムで消して生まれた形から，表したいことを見付ける。<br>○消した形を生かしながら，表し方を工夫する。<br>○作品の題名を考える。<br>○友人とお互いの作品を見合いながら，よさや美しさを感じ取る。 | 教師・児童：雑巾 など<br>教師：コンテ・パステル，画用紙・木炭紙，定着液（フィキサチーフ）など<br>児童：消しゴム，汚れてもよい服装など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 画面をコンテで塗りつぶしたり，消しゴムで消したりするときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランスなどを理解している。 | 表現方法に応じてコンテや消しゴムを活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，奥行き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，画面を塗りつぶしたり消したりして感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，奥行き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的にコンテで塗りつぶした画面を消しゴムで消しながら，思い付いたことを表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　他の題材：p.48-49「わたしのいい形」との関連が深い。どちらも，削り取りながら生まれる形を基に表現する題材である。

## p.42-43　わくわくプレイランド　遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる

### ～ビー玉のぼうけん～　4～8

**目標**　木の板を使って楽しく遊ぶゲームを考え，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 材料の特徴を生かし，用具を活用して，遊ぶものを自らつくることに喜びをもち楽しむ子ども。 | ○電動糸のこぎりの安全な使い方を知る。<br>○自由に切り分けた板を一回り大きな段ボールや板などに並べ，ゲームを考える。<br>○板をさらに切ったり，色を付けたり材料を組み合わせたりするなど，工夫してつくる。<br>○つくった作品で友人と遊び，お互いの作品のよさや工夫したところを話し合う。 | 教師・児童：ビー玉，身辺材 など<br>教師：電動糸のこぎり，糸のこぎり刃，金づち，釘，きり，紙やすり，ベニヤ板，厚めの段ボール板，木工用接着剤 など<br>児童：水彩用具一式，身辺材，ペン など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 木の板と身近な材料を使って，みんなで楽しく遊ぶものをつくるときの感覚や行為を通して，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて電動糸のこぎりを活用するとともに，釘，金づち，板材などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，板を切り分けたり，ビー玉を転がしたりして感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じ，用途などを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に木の板と身近な材料を使って，みんなで楽しく遊ぶものをつくる学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　学校行事等：他の学年との交流，高齢者福祉施設への訪問などで，作品を使って遊ぶことができる。
中学校技術：A「材料と加工の技術」へつながる題材である。電動糸のこぎりを扱うなかで，慣れていけるようにしたい。

### ～はじいてプレイボール～　6～8

**目標**　ビー玉をはじく仕組みから楽しく遊ぶゲームを考え，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 材料の特徴を生かし，用具を活用して，遊ぶものを自らつくることに喜びをもち楽しむ子ども。 | ○木と輪ゴムを使ってビー玉をはじく仕組みをつくる。<br>○はじく仕組みを基につくりたいゲームを考える。<br>○材料や用具を活用しながらつくる。<br>○つくった作品で友人と遊び，お互いの作品のよさや工夫したところを話し合う。 | 教師・児童：ビー玉，身辺材 など<br>教師：電動糸のこぎり，糸のこぎり刃，金づち，釘，きり，紙やすり，ベニヤ板，角棒，ボール紙，輪ゴム，木工用接着剤 など<br>児童：水彩用具一式，など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| ビー玉をはじく仕組みを使って，木の板と身近な材料でみんなで楽しく遊ぶものをつくるときの感覚や行為を通して，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて電動糸のこぎりを活用するとともに，釘，金づち，板材などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，仕組みを動かして感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じ，用途などを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的にビー玉をはじく仕組みを使って，木の板と身近な材料でみんなで楽しく遊ぶものをつくる学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　学校行事等：他の学年との交流，高齢者福祉施設への訪問などで，作品を使って遊ぶことができる。
中学校技術：A「材料と加工の技術」へつながる題材である。電動糸のこぎりを扱うなかで，慣れていけるようにしたい。





## p.44-45　光と場所のハーモニー　材料や場所を基にして活動する／場所・環境を生かして

### ～暗い場所で～　2～6

**目標**　光と場所の特徴を基に，光を使って空間を変化させる方法を思い付き，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，活動を工夫して美しい空間をつくる。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| お互いの考えを尊重し合いながら，材料の特徴を効果的に生かし，身の回りに働きかけることで環境や状況をよりよく変えてみようとする能動性をもった子ども。 | ○いろいろな材料に光を当てて，壁や天井などに映る形や色を試す。<br>○映した場所の様子や，材料と光の組合せからイメージをもち，お互いにアイデアを出し合いながら，さらに場所の様子をつくりかえる。<br>○みんなでつくりかえた場所の様子を味わい，よさや美しさを感じ取る。 | 教師・児童：ペットボトル，ざる，かごなど光を当てると面白い形ができる材料，セロハンテープ など<br>教師：ＬＥＤライト，ミラーシート・鏡，色セロハン，トレーシングペーパー，カッターナイフ，カッターマット，デジタルカメラ など<br>児童：はさみ など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 光と場所の特徴を生かして，美しい空間をつくるときの感覚や行為を通して，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 活動に応じてLEDライトを活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくっている。 | 奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，材料や，活動する場所の空間の特徴などを基に造形的な活動を思い付き，構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら，どのように活動するかについて考えている。 | 奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちのつくりだした空間の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，つくり方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に光と場所の特徴を生かして，美しい空間をつくる学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　他の題材：１・２下p.10-11「ひかりの プレゼント」や３・４下p.38-39「光とかげから生まれる形」などとの関連が深い。これらの題材での気付きや経験が，本題材での表現を深めることになる。
プログラミング教育：Scratchなどで作成した動く絵を場所に投影し，投影した様子を基にプログラムをつくりかえるといった活動を行うことも考えられる。

### ～明るい場所で～　2～4

**目標**　光と場所の特徴を基に光を使って空間を変化させる方法を思い付き，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，活動を工夫して美しい空間をつくる。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| お互いの考えを尊重し合いながら，材料の特徴を効果的に生かし，身の回りに働きかけることで環境や状況をよりよく変えてみようとする能動性をもった子ども。 | ○日の光の差し込むところに，材料を組み合わせるなどしてできる影の形や色を試す。<br>○試してできた形や色を基にイメージをもち，お互いのアイデアを出し合いながら，さらに場所の様子をつくりかえる。<br>○みんなでつくりかえた場所の様子を味わい，よさや美しさを感じ取る。 | 教師・児童：セロハンテープ など<br>教師：色セロハン，トレーシングペーパー，カッターナイフ，カッターマット，デジタルカメラ など<br>児童：はさみ など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 光と場所の特徴を生かして，美しい空間をつくるときの感覚や行為を通して，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 活動に応じて材料や用具を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，方法などを組み合わせたりするなどして，活動を工夫してつくっている。 | 奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，材料や，活動する場所の空間の特徴などを基に造形的な活動を思い付き，構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら，どのように活動するかについて考えている。 | 奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちのつくりだした空間の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，つくり方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に光と場所の特徴を生かして，美しい空間をつくる学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　他の題材：１・２下p.10-11「ひかりの プレゼント」や３・４下p.38-39「光とかげから生まれる形」などとの関連が深い。これらの題材での気付きや経験が，本題材での表現を深めることになる。

## p.46-47　言葉から思いを広げて

感じたこと，想像したこと，見たことから表す／物語などから感じたこと，想像したことから表す　　4～8

**目標**　詩や短歌，物語などの言葉からにじみ出る雰囲気や感じ取った思いが伝わるように，画面の構成を考え，形や色などの造形的な特徴を捉えながら，表し方を工夫して絵に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 詩や短歌，物語などに触れ感じたことを形や色で表すことで，思いを深めることを楽しむ子ども。 | ○詩や短歌，物語などを読んで，感じたことや思い浮かべたことを小さな紙に簡単にかく。<br>○かいたことや読んで感じたことを基に表したいことや表し方を考えて表す。<br>○友人とお互いの作品を紹介し合い，どのようなことを表したのかを伝え合う。 | 教師：画用紙・色画用紙，コンテ・パステル など<br>児童：水彩用具一式，ペン など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 詩や物語などに触れて，想像したことを表すときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに，水彩絵の具や描画材などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，詩や物語から感じたことや想像したことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に詩や物語などに触れて，想像したことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　国語：国語で読んだ詩や物語を基に活動することもできる。文章を読んで自分なりの考えをまとめたり，思いを広げることは「〔思考力，判断力，表現力等〕C 読むこと（1）」にもつながる。

## p.48-49　わたしのいい形　材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／粘土で

### ～ほり出した形～　2～6

**目標**　粘土などの塊に触れ，感じたり思い浮かんだりしたことを，手や用具の使い方を工夫して彫って，形などの造形的な特徴を捉えながら立体に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 材料に触れて感じた自身の思いによって，材料の塊に向き合い，どのような形がよいか自分で考えながら工夫してつくることで，自らのやり方や意味を見いだしていくとともに，他者の表現を認めることのできる子ども。 | ○木彫風粘土や石けんなどの材料に触れて，塊の中に見えてきた形を彫り出すことに興味をもつ。<br>○彫り出したい形を想像したり，塊を削りながら表したいことを考えたりする。<br>○用具の使い方を工夫して，表現を深める。<br>○表したものを見て題名を考える。<br>○できた形を見合い，よさや工夫を伝え合う。 | 教師・児童：滑り止めシート，作業板，雑巾 など<br>教師：切削しやすい材料（木彫風粘土・石けん・珪藻土・滑石・発泡セメントなど），ピーラー，紙やすり，作業板 など<br>児童：彫刻刀 など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 材料の形を変えながら感じたことや思ったことを立体に表すときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。 | 表現方法に応じて彫刻刀，ピーラーなどを活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，材料の形を変えながら感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に材料に触れ，形を変えながら感じたことや思ったことを，立体に表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　道徳：A「個性の伸長」との関連が深い。じっくりと材料に向き合いながら表現したときに感じたことや，そこで自分がよいと思ったことを省察することから，道徳の学習につなげたい。





### ～ねった形～　2～4

**目標**　粘土の塊に触れ形を変えながら，感じたり思い浮かんだりしたことを，手や用具の使い方を工夫して，形などの造形的な特徴を捉えながら立体に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 材料に触れて感じた自分の思いを基に，材料の塊に向き合い，どのような形がよいか自分で考えながら工夫してつくることで，自らのやり方や意味を見いだしていくとともに，他者の表現も認めることのできる子ども。 | ○粘土の塊に触れて形を変えながら，表したいことを考える。<br>○手と用具の使い方を工夫して，表現を深める。<br>○表したものを見て題名を考える。<br>○友人とできた形を見合い，よさや工夫を伝え合う。 | 教師・児童：粘土板，雑巾，新聞紙 など<br>教師：土粘土，切り糸，かきべら，のし棒 など<br>児童：粘土べら など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 粘土の形を変えながら感じたことや思ったことを立体に表すときの感覚や行為を通して，動き，バランスなどを理解している。 | 表現方法に応じてかきべら，切り糸，のし棒などを活用するとともに，粘土についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，粘土の形を変えながら感じたこと，想像したことから，表したいことを見付け，形や材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，バランスなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に粘土に触れ，形を変えながら感じたことや思ったことを，立体に表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　道徳：A「個性の伸長」との関連が深い。じっくりと材料に向き合いながら表現したときに感じたことや，そこで自分がよいと思ったことを省察することから，道徳の学習につなげたい。

## p.50-51　ほり進めて刷り重ねて　版に表す　　4～8

**目標**　彫ったり刷ったりしながら，形や色などの造形的な特徴を捉え，表し方を工夫して彫り進み木版に表す。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 自分が働きかけたり試みたりしていることを一つ一つ確かめながら，よりよい表現を目指そうとする子ども。 | ○彫り進み木版の方法について知り，表したいことを考える。<br>○下絵をかき，色の付け方や彫る順番を考える。<br>○彫刻刀の使い方を工夫しながら彫って刷ることを繰り返す。<br>○友人とお互いの作品を見合いながら，表現の工夫やよさやなどを伝え合う。 | 教師・児童：新聞紙 など<br>教師：版木，刷り紙，版画用具一式，下絵用の紙，トレーシングペーパー など<br>児童：彫刻刀，筆記用具 など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 彫ったり刷ったりしながら，形や色の重なりを確かめて，版に表すときの感覚や行為を通して，動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて彫刻刀，版画の用具を活用するとともに，前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，生活の中で感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じなどを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，奥行き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に彫ったり刷ったりしながら，形や色の重なりを確かめて，版に表す学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　中学校美術：第１学年Ａ表現（１）ア（ア）での全体と部分との関係を考えることや創造的な構成を工夫することなどとの関連が深い。

## p.52-53　伝え合いたい思い　伝え合うものをつくる　5～8

**目標**　大好きな場所のよさや思いを伝えることができるように，形や色などの特徴を捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して表し紹介する。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 思いを伝えることに意欲をもち，分かりやすく伝えようと表し方を工夫するとともに，他者の思いを捉え，広く理解しようとする子ども。 | ○校舎や校庭から大好きな場所や思い出の場所を選び，その理由や思いを考えたり，思いを文章に書いたりする。<br>○簡単な絵にかくなどして，思いが伝わるようなプレートの構想を練る。<br>○形や色，材料の組合せ方などを工夫して表す。<br>○場所に飾った作品の表現の意図や工夫についてプレゼンテーションする。 | 教師：板材，段ボール板，針金，ひも，耐水絵の具，電動糸のこぎり，段ボールカッター，カッターナイフ，カッターマット，のこぎり，金づち，釘，きり，木工用接着剤，クランプ，万力，ワークシート など<br>児童：水彩用具一式，ペン，筆記用具など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 思いを伝えるプレートや飾りをつくるときの感覚や行為を通して，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて電動糸のこぎりを活用するとともに，板材，のこぎり，金づちなどの経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，自分の大好きな場所について伝え合いたいことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じ，用途などを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，飾るなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に思いを伝えるプレートや飾りをつくる学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　道徳：B「親切，思いやり」C「よりよい学校生活，集団生活の充実」との関連が深い。活動を通して，感じたことや考えたことから道徳の学習につなげることや，道徳の学習で感じたことなどを表現につなげることも考えられる。

## ～ポスターで伝えよう～　4～8

**目標**　伝えたい思いを伝えることができるように，形や色などの特徴を捉えながら，材料や用具の使い方を工夫して表し紹介する。

| 育てたい子どもの姿 | 主な学習内容 | 主な材料・用具 |
|---|---|---|
| 思いを伝えることに意欲をもち，分かりやすく伝えようと表し方を工夫するとともに，他者の思いを捉え，広く理解しようとする子ども。 | ○学んだことや日ごろから感じていることから，ポスターにして伝えたいことを考える。<br>○簡単な絵にかくなどして，思いが伝わるようなポスターの構想を練る。<br>○形や色，材料の組合せ方などを工夫して，思いを表す。<br>○作品を掲示し，表現の意図や工夫についてプレゼンテーションする。 | 教師：画用紙・色画用紙，ぼかし網，歯ブラシ，ストロー，ワークシート など<br>児童：水彩用具一式，ペン，筆記用具など |

**評価規準の例**

| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| 知識 | 技能 | A表現 | B鑑賞 | |
| 思いを伝えるポスターをつくるときの感覚や行為を通して，動き，バランス，色の鮮やかさなどを理解している。 | 表現方法に応じて水彩絵の具を活用するとともに，前学年までの材料や用具の経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，普段の生活などから伝え合いたいことから，表したいことを見付け，形や色，材料の特徴，構成の美しさなどの感じ，用途などを考えながら，どのように主題を表すかについて考えている。 | 動き，バランス，色の鮮やかさなどを基に，自分のイメージをもちながら，飾るなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めている。 | つくりだす喜びを味わい，主体的に思いを伝えるポスターをつくる学習活動に取り組もうとしている。 |

**関連**　社会：身近な町や社会の今日的な問題など，社会科で学んだ内容を取り上げると，児童が主体的にポスターに表すことの意味や価値を意識しながら活動することが期待できる。
道徳：B「親切，思いやり」C「よりよい学校生活，集団生活の充実」との関連が深い。活動を通して，感じたことや考えたことから道徳の学習につなげることや，道徳の学習で感じたことなどを表現につなげることも考えられる。



## 5・6年上　特設ページについて

| ページタイトル | ページ | 概　要 |
|---|---|---|
| 教科書美術館<br>～身近なものを見つめて～ | p.2-4 | 「教科書美術館」は，身の回りの造形から美術作品まで幅広く鑑賞の対象を掲載したページである。<br>「身近なものを見つめて」では，日常の生活の中にあるものを表現の対象として扱っている美術作品を中心に紹介している。作者が何故それを対象として選んだのか，そこにある主題はどのようなものなのかといったことを，形や色などの造形的な特徴を基に，児童なりに感じ取りながら話し合うなどして作品のよさを味わうようにし，自分たちの表現に生かすことができるようにしたい。 |
| 図画工作をはじめよう<br>～見つめて 広げて～ | p.5-7 | オリエンテーションのページである。<br>ここでは，図画工作の学習が３つの資質・能力を育てる時間であり，教科書はそのためのヒントであって，写真やキャプションなどを参考にしながら，主体的に試し工夫し，友人と関わるなどして表現や鑑賞の活動に取り組み，自分の資質・能力を育てていく，ということを伝えている。<br>実際の題材に取り組む前に本ページを活用しながら，児童とともに，図画工作の目標について話し合う時間などをもつようにしたい。 |
| ひらめきポケット<br>～分ける～ | p.34-35 | 「ひらめきポケット」は，児童の発想を促すための行為とそれに関連する図版を掲載している。児童が表現に向かったり，いろいろな形や色などに気付くためのページである。<br>「分ける」では，この時期の児童の実態に合わせて，いろいろな材料や身の回りにある形や色を分解／分類した写真や美術作品などを紹介し，児童の発想を広げることができるようにしている。 |
| 図画工作のつながり ひろがり<br>～つくる～ | p.36-37 | 「図画工作のつながり ひろがり」は，図画工作で学んだことを生活や社会に生かすことを提案する，「開かれた教育課程」を目指すためのページである。<br>「つくる」では，様々な「つくる人」を紹介している。いわゆる美術だけでなく，デザインや工芸など幅広い分野で活躍する人を知ることで，児童自身が，図画工作での学びと社会とをつなげていけるようにしたい。 |
| 図画工作のつながり ひろがり<br>～地いきとつながる～ | p.54-55 | 「地いきとつながる」では，図画工作で学んだことを生かして，地域に働きかけることができることを紹介している。児童自身が，自分たちが学んだことを生かしてどのようなことができそうかを考えると同時に，地域の人たちと学びを共有していけるようにすることが大切である。 |
| 図画工作のつながり ひろがり<br>～形や色に思いをこめて～ | p.56-57 | 「形や色に思いをこめて」では，いろいろな思いが込められた造形を紹介している。ここでの思いとは，ESDやSDGsと関連する，社会に対しての思いである。形や色だからこそ多くの人たちに伝わる思いがあることを感じ，またそうした思いの込められた表現や形や色などがあることを知り，自分たちの生活をよりよくするために，形や色でどのようなことができるのかといったことを考えるようにしたい。 |
| 使ってみよう材料と用具 | p.58-65 | 教科書で取り扱う様々な材料や用具について安全で適切な取扱いができるように示しているページである。<br>単に技能の習得として活用するだけでなく，いろいろな材料や用具自体も一つの鑑賞の対象として見ていくことができるような図版も掲載している。<br>また簡単な問いかけなどを設定するなど，材料や用具を使って表現することへの意欲を高めるコーナーも設定してある。活用にあたっては，特に安全に配慮する必要があるような用具については一斉指導をする，そうでないものについては適宜参照するなど，実態に応じて使い分けるようにしたい。 |